

# 依存症と生きて ～私たちはなぜ寂しいか～

プログラム

13:00～13:30 受付  
13:30～14:30 講話  
14:30～14:45 休憩  
14:45～16:30 演習  
16:30 閉会

令和元年 **11月29日 (金)**

参加費：入場無料 (定員100名)

会場：チトセピアホール

(〒852-8135 長崎市千歳町5-1 チトセピアビル2F)

駐車場：チトセピア駐車場の利用が可能です。  
(有料) 最初の1時間は100円, 以降は30分ごとに100円。

講師 **上岡 陽江氏**

特定非営利活動法人 ダルク女性ハウス 代表

講話

13:30～14:30

『依存症と生きて  
～私たちはなぜ寂しいか～』

演習

14:45～16:30

『ワークショップ』



★上岡陽江 (かみおか はるえ)

## ★ダルク女性ハウス

「ダルク女性ハウス」は東京の下町の小さなアパートでささやかに始まりました。薬物依存症からの回復を望む女性たちのための日本で最初の民間施設です。薬物依存症という問題を抱えながらも、社会の中で何とか今日一日を生きている方々が安心して暮らせるように願っています。薬物を使わずに暮らしていくために、どうしたらよいか。ともに考えながらサポートをおこなっています。

(ダルク女性ハウスHP <http://womensdarc.org/>参照)

1957年生まれ。ダルク女性ハウス代表。精神保健福祉士。こどもの頃から重度のぜんそくがあり、小学校6年生から中学三年まで入院生活を送る中で処方薬依存と摂食障害に。19歳以降、アルコール依存症を併発、26歳にしてようやく回復プログラムにつながる。

1991年に友人とともに、薬物・アルコール依存をもつ女性サポートする「ダルク女性ハウス」を設立、今に至る。

現在、東京大学最先端科学技術研究センター協力研究員としての当事者研究にも携わる。著書に『生きのびるための犯罪(みち)』、共著に『その後の不自由』『虐待という迷宮』など。



主催 長崎県 / 社会福祉法人 南高愛隣会  
協力 長崎多職種連携・たまごの会


お申し込み方法 令和元年11月20日 (水) まで

▶右のQRコードからお申し込みいただけます。

もしくは、別紙「参加申込書」に必要事項をご記入の上、メールまたはFAXにてお申し込みください。



# 11.29 研修会 参加申込書

 0957-24-1330

機関名：

担当者：

連絡先(電話番号)：

職名	氏名	備考

(コメントがあればご記入ください)

\* 上記へ必要事項をご記入の上、令和元年11月20日(水)までに下記連絡先までメールかFAXにてお申し込みください。表面記載のQRコードからも申込みいただけます。

## ★会場案内

チトセピアホール  
〒852-8135 長崎県長崎市千歳町5-1 チトセピアビル2F  
TEL:095-842-2700 HP:<https://www.chitosepiahall.com/>

## ★駐車場

チトセピア駐車場の利用が可能です。  
(有料) 最初の1時間は100円, 以降は30分ごとに100円。



## お問い合わせ先

社会福祉法人 南高愛隣会 長崎県地域生活定着支援センター

■TEL : 0957-23-1332 ■FAX : 0957-24-1330 ■E-mail : [nagasaki-teichaku@airinkai.or.jp](mailto:nagasaki-teichaku@airinkai.or.jp)